

水沼ひでゆき 通信

2025.01 No.4 (討議資料)

未来を変える。あなたを支える力になる!

ご挨拶

あけましておめでとうございます。新しい年が始まり、心新たにお過ごしのことと存じます。

先の衆議院総選挙では9万11票の信託をお預かりし、当選を果たすことができました。身に余る多くのご支持をいただいた皆様、そして平素からの日常活動をお支えいただいている皆様、「Nextage」の印刷、折り、宅配や駅頭での手配り、またポスター貼りなどお手伝いをいただいた皆様のご期待に応えられるよう全力を尽くしていく決意です。誠にありがとうございました。

互いが努力し、一致点を見出す政治を

昨年は、総選挙以外にも国内外で話題となった選挙が多くありました。兵庫県知事選では齋藤氏が、知事退任時のバッシングなどから当初は劣勢とみられていたものの、次点に13万票差を付けて圧勝しました。東京都知事選での「石丸現象」、他国ですがトランプ氏の再選など、SNSやソーシャルメディアの影響力の強さを痛感する事例が増えています。だからこそ、現在私たちに問われているのは、自身が触れた情報を、すぐには「正しいもの」「誤ったもの」と決めつけない姿勢なのかもしれません。

ネットの世界では、ひとたび有権者が特定の候補に関する動画を見始めれば、似たような動画が次から次へと推薦される「フィルターバブル」現象に入ります。特にSNSのアルゴリズムは、私たちがいつも目にしているコンテンツを推奨します。その結果、無意識に自分の好みに合った情報ばかりを受け取りやすくなります。そのため、知らず知らずのうちに「自分で情報を選択する」というプロセスが制限されてしまっている可能性があります。情報化社会が進展する現代においては、私たちはこれまで以上に注意深く情報に触れなければなりません。

だからこそ、粘り強く議論を重ね、極論をぶつけ合うのではなく、互いが努力し一致点を見出す政治が今こそ求められているのだと考えます。そして自分自身の目で見て耳で聞かため、現場に足を運ぶ重要性が高まっているのだと痛感します。

実際に起こっていることだけではなく、人間の考えでさえ、複雑で多面的なものです。このようなモヤモヤしたものについて、スッパと一刀両断する論調は大変魅力的ではありません。しかしそこをグッと堪えて、モヤモヤに辛抱強く向き合って対話することが、SNS時代では求められているのではないのでしょうか。新年を迎えた今、新たな気持ちで社会とのコミュニケーションを考えて参ります。

「熟議と公開」で、新しい国会を

1月中旬には国会が召集され、私自身、初めての通常国会が始まります。所属する内閣、財務金融委員会でも質問の機会があります。これまで地元でいただいてきたご意見、ご要望を国会へ届け、政策・制度の改善につなげていく決意です。

新人議員ではありますが、愚直に研鑽を積み重ね、野田佳彦代表と共に、粘り強く「熟議と公開」の政治を旗印に、新しい国会を創り、論戦に挑んで参ります。

本年もよろしく願い申し上げます。

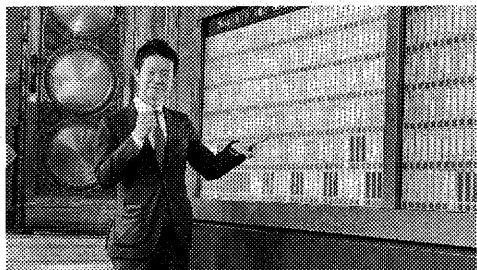
(2025.01.記)

衆議院議員 水沼ひでゆき

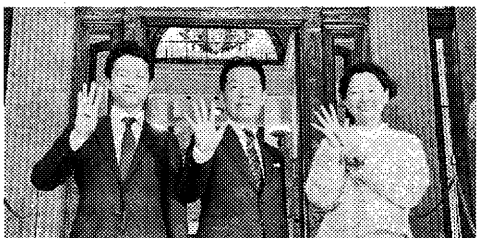


毎朝の駅頭は活動の中心。駅頭後、国会へ電車通勤

11/11 第215特別国会 初登院!



初めて登院ボタンを「ポチッ」



千葉4区、5区、6区の新人議員!

11月11日、期待と不安を胸に、国会に初登院。同じ千葉県内で初当選した矢崎堅太郎議員(千葉5区)、安藤じゅん子議員(千葉6区)と共に、国会正門から初登院し、議員バッチを受け取りました。

師匠である野田佳彦先生の背中を追いかけ、党公募を経て、千葉県第4区総支部長として活動を始めて1年7ヶ月。千葉県初の平成生まれの国会議員として、立法府に身を置くことが叶いました。このご恩は、すべて仕事でお返しして参ります。

毎日の活動スタイルも大きく変わりました。

しかしこれまでと変わらず、毎朝の駅頭活動は継続し、朝のご挨拶後に電車で国会へ通勤です。これからが本当の勝負! 頑張ります!!

10/27 第50回衆議院総選挙 初当選!

私自身、初めての衆議院総選挙。朝の駅頭から街宣活動、そして夜の駅頭まで、12日間全力で駆け抜けました。

その戦いの中で、野田佳彦代表をはじめ、多くの先輩議員に、水沼ひでゆきのために応援に駆けつけていただき、そのお陰で、小選挙区で勝ち抜くことができました。

(千葉4区 得票数9万11票)



野田佳彦代表@船橋駅

私は、「12歳の時に野田代表に出会い、この人みたいに世のため人のために役に立ちたいと、この志を22年間持ち、そしてこの決戦の場にたどり着くことができた」「私はこの街の皆様のお支えによって、今日より明日が良くなると信じることができた。だから今度は私が、恩返しをさせていただきます」と訴えました。

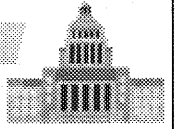
野田代表からは「彼が小学生の時から縁がある。私の演説を一番聞いて育った若者が水沼さんだと思っています」「私のように『地盤』『看板』『カバン』はないけれども、野田の志を引き継いでこの千葉4区で分身として活動してくれるのは、彼しかいない」と熱い応援を頂戴しました。

辻元清美代表代行@本八幡駅

私は、「気候変動や少子高齢化などの、答えが一つではない不確実性の高い課題が山積する現代においては、様々な観点を担保する多様性の深耕こそが大きな成長戦略となる」「選択的夫婦別姓の実現は急務。最も確実かつ財源負担なくすぐさま実行できる少子化対策となる」と訴えました。

辻元代表代行からは「野田さんは自衛官の息子、私はうどん屋の娘、水沼さんは学校の先生の息子。こういう普通の家庭で育った人が政治に携わるからこそ、国民生活に寄り添った政治になる」「防衛費だけではなく、教育への投資も大きく増やすことこそ、真に日本が強くなる道なのではないでしょうか」と力強い応援で会場を盛り上げていただきました。

11/27 第216臨時国会 初の国会に挑む!!



総選挙後、初の本格的な論戦の場!

与党過半数割れの衆議院

11月28日、第216臨時国会が召集されました。会期は12月21日までの24日間。与党過半数割れの衆議院で、初めて本格的な論戦です。衆議院の主な議席を見ると、自民党会派(196名)と立憲民主党会派(148名)が二大勢力で、日本維新の会(38名)、国民民主党(28名)、公明党(24名)を大きく引き離しています。これまでにない緊張感ある国会となり、野田佳彦代表が掲げる「熟議と公開」を柱に、国会の風景は大きく変わりました。

「熟議と公開」の国会 — 28年ぶりに政府予算案を修正! 国会の審議が変わる。

最大の焦点の一つは、物価高、被災地支援を含む経済対策、そしてその裏付けとなる補正予算案の審議でした。政府・与党の補正予算案は一般会計ベースで14兆円。去年の13兆円を上回る「規模ありき」の極めて過大なものでした。

立憲民主党は、緊急に真に必要なものに絞り、国債(借金)に依存しない、7.4兆円とコンパクトなものとし、具体的には、「物価高手当」や「小中学校の給食費無償化」など、家計・事業者への直接的・集中的支援で、賃金・所得の底上げを図る政策メニューとしました。もちろん、能登半島被災地の暮らしと生業を取り戻すため、加速的な復興支援のための予算も計上しました。

予算委員会の審議を通じ、立憲民主党は、政府案から「基金」の積み増し大幅に減らすなど約1.4兆円弱の減額を求める一方、予備費のうち1,000億円を能登半島地震の復旧・復興にあてる修正案を提出。協議の結果、自民党は能登半島地震の関連予算の増額を受け入れ、修正案を提出、立憲民主党はこの修正案に限り、賛成をしました。

予算案について野党の修正要求に自民党が応じるのは、1996年の住専国会以来、28年ぶりです。与野党が逆転した少数与党の国会で、審議の風景が変わりました。

もう一つの焦点は政治改革。信なくば立たず。政治の信頼なくして、政策の推進はありません。

立憲民主党は、①政策活動費廃止法案、②企業・団体献金禁止法案、③政治資金世襲制限法案を提出し、政治改革特別委員会で審議を行いました。政策活動費の廃止は当然ですが、改革の本丸は「企業・団体献金の禁止」です。これは、30年前の「平成の政治改革」からの宿題であり、何とか決着したいと思います。

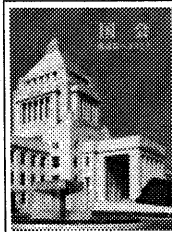


野田佳彦代表が予算委員会で質問に立ち、石破総理と真剣勝負!

国会見学のご案内

少人数から団体まで「国会見学」を受け付けています。ご希望の方は、水沼ひでゆき事務所まで、お気軽に、ご遠慮なくお申し込みください。

皆様、お待ちしております!



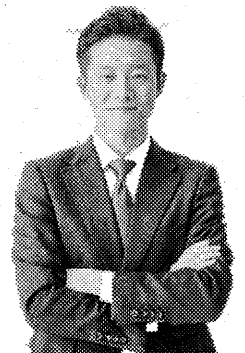
党務と所属委員会

【党務】

国民運動局 副局長
政務調査会 会長補佐
千葉県連 副代表

【国会】

内閣委員会(委員)
財務金融委員会(委員)



国会豆知識

内閣委員会の所管事項は、非常に幅広く(ゆりかごから宇宙まで)、現内閣では、内閣委員会の担当大臣は7人。官房長官の出席も要求できますので、内閣委員会は“第二の予算委員会”とも言われます。

ご寄付のお願い(未来製作所)

『未来製作所』は、水沼ひでゆきを代表とする政治資金規正法に基づく資金管理団体の名称です。水沼ひでゆきの政治活動を支援し、その政治理念並びに政策を実現することを目的としています。水沼ひでゆきの政治理念にご賛同いただき、個人の立場で財政面からサポートして頂ける方からのカンパ(献金)をお願いしております。

また、確定申告の際に、寄付金控除を受けられる方は、同封の振込用紙の所定の欄に【**要**・**不要**】のご記入をお願いいたします。

留意点 ※総務省「政治資金規正法のあらまし」より抜粋

- 補助金を受けている会社、その他の法人が行う献金はお受けできません。
- 赤字会社が行う寄付
(過去3年間にわたり赤字計上をしており、その欠損が埋められない場合)
- 外国人・外国法人等からの献金
- 他人名義・匿名による寄付

郵便振込の場合

同封の振込用紙(払込取扱票)をご利用ください。

銀行振込の場合

千葉銀行 船橋支店 ●店番コード 015
普通 4715124
名義 未来製作所

※お振込みをいただいた場合には、
ご一報いただければ幸いです。

皆様からのご支援を心からお願い申し上げます。

衆議院議員 水沼ひでゆき

水沼ひでゆき プロフィール

1990年 船橋市高根台生まれ
2003年 船橋市高根台第三小学校卒
2006年 江戸川学園取手中学校卒
2009年 江戸川学園取手高等学校卒
2010年 野田佳彦事務所インターン
2014年 早稲田大学商学部卒

(専攻: 競争戦略 内田和成ゼミ)

2014年 東京海上日動火災保険(株)入社
2023年 党公募を経て、総支部長就任
2024年 第50回衆議院総選挙初当選
(千葉4区 90,011票)

著書『イノベーションの競争戦略』

(共著、東洋経済新報社、
日本マーケティング本大賞受賞)

ポスター掲示のお願い



ポスターのサイズは
A1(594mm×841mm)

ご自宅やご所有地の塀などに掲
示していただける方は、「水沼ひで
ゆき事務所」までご連絡下さい。

選挙区内(船橋市4区、市川市4
区)に、一枚でも多くポスターが掲
示出来ますよう、皆様のご協力を
お願い申し上げます。

★掲示用のボードもご用意させていただきます。

水沼ひでゆき(立憲民主党千葉県第4区総支部)事務所

〒273-0011 千葉県船橋市湊町3-6-23 小柳ビル101号

TEL. 047-404-5802 FAX. 047-404-5803

Email. mizunuma.office@mizunuma-hideyuki.com



公式ホームページ



公式LINE